

with Dignity

金城学院の明日を見つめる [ウィズ・ディグニティ]

金城学院報

2025.
12
vol. 46



特集／

金城学院大学

研究推進・地域連携センター長

安田孝美先生に聞く

研究者集団と地域・企業をつなぎ 社会課題の解決や新たな価値の創出を。



インターネットが一般に普及してわずか30年。その進化は止まることを知らず、社会のあり方や私たちの暮らしを大きく変えてきました。

こうした時代の流れをいち早く捉え、情報と社会の関わりを探究してきたのが、社会情報学の第一人者・安田孝美先生です。

今年4月には本学の「研究推進・地域連携センター長」に就任。特命副学長として大学全体を見渡す立場も担っています。そんな安田先生に、研究者としての歩み、センター長としての決意と思いを聞きました。

情報技術を人と社会のよりよい未来に。

社会情報学は「情報通信技術が社会や暮らしにどんな影響を与え、どんな可能性を拓くのか」を追求する学問です。いまやネットは買い物や調べ物はもちろん、生成AIを使えば外国語の翻訳や文章作成、さらにはコンピュータプログラムまで作ってくれる時代になりました。一方でソーシャルメディアの悪用や情報漏洩、ネット詐欺など、新しい道具には影がつきもので、そういった負の部分も人類の知恵としてしっかり対応していかななくてはなりません。

私がこの分野の研究に関わるようになったのは1993年のこと。日本でインターネットの商用利用が始まった年です。当時名古屋大学に新しく「情報文化学部」が設立されることになり、工学部から異動しました。米国でネットの一般利用が広がるのを見て、日本でも社会を揺るがす大きな変革が必ず起こると感じたのです。情報技術を人間社会にどう生かすか。その問いが私の研究の原動力でした。

社会情報学の研究はワクワクすることの連続。

情報技術の進展は社会のあり方を大きく変えつつあります。新たな発見や問いに出会うたびに刺激を受け、ワクワクしながら研究を続けてきました。手がけたテーマはいくつもありますが、印象深いのはコンピュータ・グラフィックスを用いた天体現象のシミュレーションです。1994年シューメーカー・レヴィ第9彗星が木星に衝突する現象が起き、名古屋市科学館と宇宙科学研究所と共同で彗星の軌道を計算し、衝突前から衝突までの軌道を約8分のCG映像として可視化しました。NHKはじめ多くのメディアにも取り上げられ、映像は天文学研究者にも配布されました。社会と情報技術の関わりをテーマにした研究では高山市での産官学民連携による観光DXが印象に残っています。市職員や企業と連携し、駐車場の車のナンバーを識別して来訪者がどこから来たのかや滞在時間を分析、高山市と商店街の観光施策に活用していただきました。この取組は2022年の内閣官房主催「Digi田子園」で



今年8月25日に開催されたシンポジウム「工学分野における女性活躍への期待」で、女性活躍への期待や課題についてパネル討論する登壇者たち。



本学の卒業生で、名古屋大学大学院情報学研究所の浦田真由准教授が、情報学に関心を持ったきっかけなどを基調講演。



パネル討論には本学学生と金城学院高校の生徒も参加。

ベスト8に入賞し、審査員評価では1位を獲得。現在も名古屋大学の研究チームが継続して進めています。実はこのプロジェクトを今も担う浦田真由准教授は金城学院の中高大出身で、大学院から私の研究室に加わり、以来ともに研究を続けています。

研究推進・地域連携センターは 大学と地域をつなぐ架け橋。

研究推進・地域連携センター長としては「先生方の研究をさらに前に進め、地域との連携をさらに広め、深めていきたい」という思いが強くなります。本学にはすでに多くの共同研究や教育連携があります。それらを学内で共有し、部局の垣根を越えた新たな共同研究や共同地域連携につなげていく。そして外に向けても積極的に発信していくことで、日本が直面する高齢化や人口減少といった課題解決に少しでも寄与できる仕組みをつくっていききたいと考えています。

若い世代の学びと挑戦を後押しする 環境づくりも。

現代社会においては従来型の思考では課題解決が難しくなっている分野が数多く存在しています。「イノベーション」が求められている時代だからこそ柔軟な発想力が必要で、そのためのアントレプレナーシップ教育は本学にとって欠かせないと感じます。私自身、中部地域でのスタートアップエコシステムの構築を目指し、中部経済連合会と名古屋市が2019年に設立した「ナゴヤイノベーションズ ガレージ」の運営に関わっていますが、本学の学生諸君にも、この起業家精神を育んでもらいたいと願っています。この起業家精神というのは必ずしも起業することのみが目的ではなく、組織の中にあっても、革新的なアイデアを創出するための志を持つことを意味します。いつも課題意識を持ち、そのための解決法を見出していき、または課題そのものを発見できる力身につけてもらいたいと思います。

さらにセンターでは、中・高・大が連携して取り組む活動にも力を入れていきます。人としての成長に極めて重要なこの時期に、社会と接点を持つことはとても大切です。今年8月には本学と日本工学アカデミー中部支部との共催で「工学分野における女性活躍への期待」をテーマにしたシンポジウムを本学で開催。民間・自治体・大学で活躍する女性リーダーに加え、高校生にも参加していただき、世代を超えた議論が展開されました。今後もこうした「中高大連携」の場を積極的につくりたいと思います。

女子総合大学の強みを発揮して 社会課題の解決と新たな価値創出を推進。

社会には女性特有の課題が数多くあります。人口の約半数を占める女性の課題を解決することは、人類全体にとっての継続的なテーマです。フェムテックという言葉をご存知でしょうか？ Female (女性) と Technology (技術) からできた造語で、女性特有の健康課題について、先進的な技術を用いて対応する製品やサービスを指します。女性特有の健康課題による労働損失などの経済損失は、社会全体で年間約3.4兆円とも言われています。文系、理系の枠を超え、女性の生き方や社会参加を多面的に学べる本学は、こうした社会課題に応える大きなポテンシャルを持っています。

本学は文学、生活環境学、人間科学、看護学、薬学に加えて、2026年にはデザイン工学部と経営学部が新たに誕生し、7学部体制となります。まさに女子総合大学として広くウイングを広げた学問分野をカバーすることになります。広範囲の学問分野をもつ研究者集団がより高度な研究を推進し、民間企業や地域など学外組織とより深く連携してこそ、新しい価値が生まれます。私自身も、これまで紡いできた経済界・民間企業や自治体、国の機関などとのネットワークを活かし、研究者集団と地域・企業をつなぐ役割を全力で果たしていきたいと考えています。

私はまだ4月に着任したばかりの新人で、学内外の皆さまに助けをいただくことがたくさんあります。課題や要望、アイデアなど、ぜひ率直にお聞かせください。皆さまとともに歩みながら、金城学院大学の新たな可能性を育てていきたいと思っています。

研究推進・地域連携センターの事業・活動の詳細はこちらをご参照ください。

→ <https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/research/>

安田孝美 YASUDA Takami



名古屋大学大学院 工学研究科情報工学専攻 博士後期課程単位取得満期退学、工学博士を取得。名古屋大学で助手、助教授、教授を務め、2017年の情報学部設立に部局責任者として関わり、情報通信を活用した新しい社会・教育・文化・経済のあり方について、文理の枠を超えて多方面から研究を推進。2025年4月金城学院大学特命副学長・教授・研究推進・地域連携センター長に就任。

金城学院で活躍する
先生をピックアップ

Kinjo Spirit

金城スピリット



「いつも見ていてくれるし、声をかけたらすぐ来てくれる。ときどき怖いけど…ね」
子どもたちがそんな風に思ってくれたら嬉しいし、そうありたいという岩崎先生。
そのためには、遊ぶ時は徹底して、本当に友だちのように遊ぶ。
でも、きちんと何かを伝えなければいけない時は
姿勢を正し、声の大きさやトーンも変えて、しっかりと伝える。
そんな日々の中で今日も子どもたちと向き合い、その成長を優しく見守っています。

「遊びや生活の中で伝える」という方針に共感して。

私が幼稚園教諭を目指すようになったのは、両親が共働きで小学1年生から学童に通っていたこと、そして母がクリスチャンで、幼い頃から教会に通っていたことがきっかけです。学童でも教会でも、さまざまな年齢の人たちに囲まれて育つなかで、自然に小さい子たちの面倒を見たり、一緒に遊ぶことが好きになって、いつの間にか「保育者になりたい」と思うようになっていました。

金城学院幼稚園を就職先にしたのは、園見学で出会った先生方の姿に心を動かされたからです。勉強を教えるのではなく、「遊び」や「生活」の中で子どもたちに寄り添いながら伝えている姿がとても印象的でした。また、日曜・祝日には必ず教会へ行くという生活を続けていた私にとって、園生活の中にお祈りや礼拝の時間があることにも自然な親しみと安心感を覚えました。

ニュージーランド滞在中もずっと園とつながっていた。

入職して4年経った頃、一度退職してニュージーランドで1年半

を過ごしました。学生時代にインターンシップで訪れたことがあり「もう一度行ってみたい」という思いが募っていたこと。ワーキングホリデーの年齢制限もあり、思い切って飛び立ちました。

現地では、まず半年間語学学校で学び、その後は約1年間、輸入会社の工場で働きました。最後の1か月間は国内各地を旅して、自然や食、アクティビティを満喫。さまざまな文化に触れ、人の優しさや多様な価値観に出会えた時間でした。

ありがたいことに、帰国した翌月には非常勤として再びこの園で働かせていただくことになり、翌年4月からは正職員に戻ることができました。ニュージーランド滞在中はいつも子どもたちのことを思っていたし、旅立つ際には保護者の方々が送別会を開いてくださったり、「卒園児のお別れ会で流したいのでメッセージを送って!」と声をかけてくださったり。離れていても温かいつながりを感じていました。

子どもから教えられた「黙って待つ」時間の大切さ。

本園にはベテランの先生から若い先生まで、個性豊かで尊敬できる先生方がたくさんいます。それぞれの良いところを学び合い、支え

子どもたちにとって

いつでも頼れる一番の味方でありたい。



岩崎 林子 教諭

IWASAKI Akiko

金城学院幼稚園

- 2014年3月 桜花学園大学保育学部 保育学科卒業
- 2014年4月 金城学院幼稚園入職
- 2018年3月 金城学院幼稚園退職
- 2018年7月～ ニュージーランドで語学
- 2019年12月 研修後、ワーキングホリデーとして現地企業で働く
- 2020年1月～ 金城学院幼稚園で
- 2021年3月 非常勤教諭
- 2021年4月 金城学院幼稚園に正規職員として復職 現在に至る

合いながら日々の保育に取り組んでいます。もちろん、子どもたちから教えられることもたくさんあります。その一つが「ただ黙って待つ」ということ。

以前、気持ちを切り替えるのに時間が必要な園児がいました。そんな時はいつも、もう一人の園児がずっと隣にきて座り、何も言わずにただただ一緒に待っているんです。やがてその子は自分から気持ちを立て直して戻ってきました。声をかけるでもなく、ただ隣に座っているだけで「大丈夫だよ」という思いが伝わり、安心したり力をもらっていたのでしょう。何かと言えませんが声をかけてしまう私は、子どもたちのその姿を見て、ハッとさせられました。それ以来、私も言葉を急がず、黙って子どもの隣に座ることがあります。静かな時間の中で、子どもが自分で立ち上がるのをじっと待つ。その大切さを子どもたちが教えてくれました。

保育の仕事は本当に楽しく、これからずっと続けていきたいと思っています。経験を重ねるなかで、ときには「こうじゃないかな」とか「きつこうだろう」と、偏見や先入観を持って子どもたちと関わってしまうことがありますが、そうではなく、いつもまっさらな気持ちで子どもたちに向き合いたい。「遊び」や「生活」を通して日々の成長と一緒に喜び合える、そんな保育者でありたいと願っています。

教えて先生！

My Favorite



パンダ愛に目覚めたのは社会人になってから。もともとパンダの白黒のフォルムやゆるさが好きだったのですが、4年前白浜のアドベンチャーワールドでリアルパンダに会ってからどっぷりとハマってしまいました。残念ながらパンダたちは中国に帰ってしまいましたが、今はパンダグッズをいろいろ集めて楽しんでいます。

集めたパンダの絵本。園にも数冊置いて、子どもたちにも楽しんでもらっています。

使っているハンカチと靴下はすべてパンダ柄！ぬいぐるみや小物も見かけるとすぐに買ってしまいます。



Q. 岩崎林子先生ってどんな人？

どんな仕事も快く引き受けてくれる

チームのムードメーカー。—— 児玉芽園長

岩崎先生はキャリアも経験も豊富ですが、いつも明るく場の空気を和ませてくれます。「これ、だれかやってくれないかなあ」と誰もがためらうような仕事も「わたし、やりますよー」と引き受けてくれます。だれもが忙しく「時間がないなあ」と引き受けるのをためらうような場面でも率先して動くその姿に、チーム全体が活力をもらっています。



隣にいてくれるだけで安心感がある

頼もしい存在。—— 千葉由紀恵先生



保育者になって3年目。アッコ先生(岩崎先生)は1年目からずっと隣の教室にいてくれるので、とても安心感があります。私たちが若手への気遣いも忘れず、困った時にはさっと手を差し伸べてくれる優しい先輩です。以前、職員の聖書勉強会で思わず涙が止まらなくなってしまった時も、翌日アッコ先生が「神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます」という聖句を送ってくれました。その言葉は今も机の前に貼ってあり、私の支えになっています。

子どもをぐっと惹きつける保育に

日々圧倒されています。—— 徳田真衣先生

今年はアッコ先生と一緒に年少のクラスを担当しているのですが、年少の子どもたちへの視線が本当にすごいと思います。一人ひとりの個性や背景をしっかり把握して、その子に合った声かけや関わり方をしている姿に、毎日学ぶことばかりです。年少さんは気持ちの切り替えが難しいのですが、アッコ先生は活動にメリハリをつけながら自然と子どもたちの集中を引き出している。「私もこんな先生になりたい」と思いながら、一緒に保育にあたっています。



国境を越えて広がる学びと交流。 ウズベキスタン短期教育プログラム。

2024年12月9日、金城学院大学文学部・人間科学部は、ウズベキスタン共和国の※マームーン大学(外国語学部・心理学部)と、学生・教員の国際交流および学術交流に関するパートナーシップ協定を締結しました。この協定に基づき、文学部では2025年6月23日(月)から7月5日(土)までの2週間、日本文化や日本語を学びたいウズベキスタンの学生を対象とした短期教育プログラムを主催。20名の学生が参加し、充実した学びと交流の2週間を過ごしました。今回は、このプログラムの企画・運営に携わった文学部のアシュエロバ先生に、この活動への思いを伺いました。



Ashurova Umidahon

アシュエロバ・ウミダホン

金城学院大学 文学部 英語英米文化学科教授。
英語スペシャリスト養成プログラム通訳授業を担当。

ウズベキスタンでは 日本語・日本文化への関心が高まっている。

ウズベキスタンの人口は約3,700万人。そのうち約60%が30歳以下という、若い世代の多い国です。経済成長の真っ只中であり、発展を遂げた日本への憧れや、先進的な科学技術・IT分野への関心を持つ若者が増えています。また、日本のアニメやマンガをきっかけに、日本文化や日本語に興味を抱く学生も少なくありません。

こうした背景を受け、マームーン大学では2024年9月に、地域で初となる「日本語教育センター」を設立しました。開設初年度には70名、2年目の今年は200名の学生が日本語を学んでいます。本学の短期教育プログラムにも多くの応募がありましたが、日本語能力が一定水準に達している学生を対象に選抜を実施。マームーン大学から12名、他大学から8名の、計20名が参加しました。学生たちは2週間にわたり、日本語や日本文化を集中的に学び、さまざまな体験を通して学びを深めました。



12月9日に行われた
パートナーシップ
協定式で。

中部国際空港に到着
したウズベキスタンの
学生たち。



書道の授業風景。

プログラムを終了して記念
撮影。明るくてアクティブ
なウズベキスタンの学生
たちに、本学の学生も大い
に刺激を受けました。



本学国際交流センターで行われた
ウェルカムパーティーの様子。

多彩なプログラムで 学びと絆を深めた2週間。

プログラムの実施にあたっては、文学部の教員を中心にプロジェクトチームを編成し、カリキュラムや各種プログラムを綿密に準備。語学研修から文化体験まで多彩な内容が盛り込まれ、学生たちにとって非常に密度の高い学びの機会となりました。

1日のスケジュールは3コマ構成。1コマ目は日本語の研修、2コマ目は日本の経済・文化・歴史などに関する英語での講義、3コマ目は日本文化の体験授業を行いました。文化体験では、浴衣を着て日本舞踊に挑戦したり、日本食を作って味わったり、茶道や華道、書道などにも挑戦。さらに、京都への研修旅行や愛知県美術館での見学も実施しました。見て、触れて、感じて——楽しみながら日本文化を学ぶ時間は、学生たちにとってかけがえのない思い出となりました。

このプログラムのもう一つの特長は、本学英語英米文化学科の「英語スペシャリスト養成プログラム」を専攻する学生たちが、授業サポートとして参加したこと。文化体験授業の通訳や、最終日の発表会で行われた駐日ウズベキスタン共和国大使のオンライン挨拶の同時通訳など、通訳者としての実践的な経験を通じて、大きな学びを得ることができました。

プログラムが終了し、学生たちは母国へ帰りましたが、その翌日に実施された日本語能力試験では、マームーン大学からの参加学生12名全員が合格したという嬉しい知らせも届いています。今回のプログラムにご尽力くださった文学部の先生方や学生の皆さん、そして学内の教職員の皆さんに心より感謝申し上げます。今回のプログラムを機に、日本とウズベキスタンの絆がさらに深まり、今後のより豊かな交流へとつながっていくことを願っています。

※マームーン大学(Ma'mun University)はウズベキスタンのホラズム州ウルゲンチ地区に位置する私立大学で、学生数は約9,000人。教員は教授・准教授・講師を含めて約180人。4学部、8学科7専攻を擁し、経済・商学科や人文学科に加え、医学系も学べる総合大学です。



多様な人との関わりが、心を育む。

— 金城学院各校との連携の取り組みを通して —

幼稚園には、大学や高校、中学校から多くの方々年間を通して遊びに来てくださいます。実習など学びのために訪れる学生や生徒との交流はもちろんのこと、毎年夏期保育中には、高校キャラバン隊の皆さんが、楽しい人形劇を披露して下さいます。また秋には、理科の先生方が天体観測会を開催して下さったり、今年度は新たな取り組みとして、年長児にサイエンスショーを見せて下さいました。同年代の友だちや身近な保育者だけでなく、様々な世代や専門職の先生方と関わりを持つことができる豊かな環境は、総合学園ならではの魅力です。

サイエンスの世界に心が動く。

今年度、初めて開催したサイエンスショー。保育者ではなく、白衣姿の凛々しい中学校の先生が目の前で実験を見せて下さるといふ機会は、とても貴重な経験となりました。ガスバーナーや液体窒素など、幼稚園では見たことのない実験器具に興味津々の子どもたち。炎に様々な水溶液を吹きかけると色が変化する『炎色反応』の実験では、魔法のような光景に子どもたちから「わぁ!!」「すご〜い!」と歓声が上がりました。また、液体窒素の中にバナナや風船、花を入れると、カチコチに凍ったり、縮んだりする現象には、「えーっ!!」「何でっ?」と大興奮。実験に夢中になっている子どもたちは、楽しい、面白いと感じ

るだけでなく、「どうなっているんだろう?」「不思議だな」「やってみたい」と心を動かします。子どもたちの内側にむくむくと湧き上がる探究心が、生き生きとした表情に現れていました。

高校生の姿に憧れの気持ちを抱く子どもたち。

キャラバン隊の可愛い高校生のお姉さんが登場すると、子どもたちはこれから何が始まるのかと目をキラキラ輝かせます。今年も楽しい手遊びと、人形劇を2つ見せて下さいました。劇の終わりに人形たちが全員揃って「わ〜い わ〜い おしまい♪」と言う台詞。このリズムカルなフレーズは子どもたちのお気に入り。1年経っても覚えている子がいるほどです。楽しそうに演じる高校生の姿を見て、「お姉さんたちのように劇をしたい」「あんな可愛い人形を作りたいな」と早々に真似をして遊び始める子どもがいます。目の前に具体的な憧れのモデルが現れ、目標ができるからです。憧れから始まる遊びは主体的で、創意工夫や試行錯誤も楽しいもの。その過程が、子どもたちの心を豊かにします。

ヒトはもともと社会の中で、人々が暮らす姿を間近に見たり、真似をしながら、お互いに「学ぶ」生き物だと思います。幼稚園では、子どもたちの心に成長の種をまいて下さる多様な方々と身近に関わることができる環境に感謝し、これからも交流を深めていければと思っています。



「炎色反応」の実験。
美しい色の魔法に
大きな歓声が。



キレイ!!



風船を液体窒素の中に入れるとじぼみ、取り出すと、元の大きさに膨らみます。



すごい!



サイエンス
ショー

子どもたちの“なぜ?”や“ふしぎ”をきっかけに、科学の芽がいっぱい育ちました! ありがとうございます。



モクモクと立ち上る白い煙に子どもたちは大興奮。



キャラバン隊のお姉さんたちは子どもたちの憧れ!



子どもたちが大好きな手遊びも披露してくれました。

キャラバン隊

バイバーイ、またね。高校生のお姉さんと人形に見送られる子どもたち。



人形たちのセリフとコミカルな動きに、お話の世界へどンドン引き込まれていきます。



またあそぼうね!!



技の一つひとつに感謝の気持ちを込めて。 空手道と共に歩み、挑戦し続けた日々。

本校空手道部の主将として部員たちをまとめ、引っ張ってきた浅井梓恵奈さん(高3)。2025年は第57回愛知県空手道選手権大会(少年女子 形の部)と第79回愛知県高等学校総合体育大会空手道競技(女子個人形)で優勝。念願だったインターハイや第79回国民スポーツ大会への出場も果たし、積み上げてきた努力が実を結びました。すべての試合を終えたいまは「やり切ったという安堵感と、本戦で勝てなかった悔しさがなげまぜになっています」と浅井さん。その眼差しには、凛とした強さとしなやかさが宿っていました。

空手一家に育ち 練習に打ち込む日々。

空手道には、1対1で戦う「組手」と、技の正確さや美しさを競う「形」があります。浅井さんは「形」の選手で、持ち前のスピードや緩急、力強さを武器に数々の大会で輝きを放ってきました。

空手道を始めたのは5歳のとき。祖父の代から空手道場を営み、父は師範、母も経験者、姉と弟も空手道選手という空手一家で育った浅井さんにとって、道着に袖を通すのはごく自然なことでした。

平日は部活動後も道場で2時間、部活のない日は3時間ほどの練習を重ねる日々。「やめたいと思ったことは何度もあります」と浅井さん。「試合と定期テストの時期が重なり、勉強も練習も手を抜けない。練習をしないと試合結果に表れてしまうから、苦しい時期もありました」

それでも続けてこられたのは、家族の支えがあったから。弱音を受け止めてくれる家族に気持ちを吐き出すことで、再び前を向くことができました。

4つ上の姉が個人形でインターハイに出場した姿も大きな励みになったといいます。

極めれば極めるほど奥深い。 それが「形」の魅力。

形はひとりで演じますが、突きや蹴りなどの動きの先には「見えない相手」が存在します。「その相手をどれだけ意識できるかで、技の力強さやスピードが変わります」と浅井さん。「空手道を知らない人には舞っているように見えるかもしれませんが、動作の一つひとつに意味があり、それこそが形の魅力であり、奥深さです」といいます。

自分の強みを「運が強いこと」と笑う浅井さんですが、運だけでは勝てないことも知っています。だからこそ、日々の練習を地道に重ねてきました。

空手道部顧問の安藤真梨乃先生は話します。「部員の多くは初心者。浅井さんは本来不要かもしれない基礎練習でも率先して取り組んでいます。大会前にはメンタルや体調管理のアドバイスもしてくれるなど、主将として部をしっかり引っ張る頼もしい存在です」

自分らしさを出せた最後の舞台 国民スポーツ大会。

これまで数多くの試合を経験してきた浅井さんにとって、特に印象に残っているのは今年のインターハイ予選と国民スポーツ大会(国スポ)。目標だったインターハイ出場を決めたときは、嬉しさとともに、ようやく肩の力が抜けたといいます。

そして迎えた国スポ。全国からトップ選手が集うこの大会は、浅井さんにとって選手生活の区切りとなる舞台でもありました。「勝ちに行くというより、自分の力をすべて出し切ろうと思って臨んだので、プレッシャーもなく自分らしい演武ができました。頑固な私に最後まで付き合ってくくださった顧問の先生や師範の方々、いつも励ましてくれた家族、そして部活仲間や友人たちにも感謝の気持ちでいっぱいです」

卒業後は関西の大学で法律を学ぶという浅井さん。空手道を通して学んだ礼節を重んじる心、周囲の人々や環境への感謝の思い、そして努力を積み重ねる強さ。そのすべてを糧に、これからも新しい舞台で自分らしく挑戦を続けていくことでしょう。



空手道部顧問の安藤真梨乃先生と浅井梓恵奈さん。



見事優勝を勝ち取った2025年愛知県高等学校総合体育大会での演武。



2025年は大活躍の年でした。



空手道部の練習風景。



空手道部の仲間たちと。



“誇りの持てる美しい作品”をテーマに 3歳児の“探究心”を育む おもちゃづくりに挑戦。

「3歳児が探究できるおもちゃ」って、どんなおもちゃだろう？

そんなユニークなテーマに、3年生たちが挑戦しています。紙飛行機づくりを通して“探究することの面白さ”を体感し、金城学院幼稚園では園児たちと遊びながらヒントを発見。おもちゃづくりを通して生まれた気づきや発見、そして完成に向けた思いを、生徒たちとDignity科主任・後藤敬太先生に伺いました。



写真左から 後藤敬太先生、白石唯羽さん、加藤玲衣さん、内山美桜さん、中川葵子さん、梅田宗史朗先生 (Dignity担当)

幼稚園・大学・企業とつながる 「おもちゃづくりプロジェクト」

3年生のDignity科では、2025年度からプロジェクト型PBLとして「3歳児が探究できるおもちゃづくり」に取り組んでいます。前段階では「より遠くへ飛ぶ紙飛行機プロジェクト」を実施し、紙飛行機という身近な題材を通して“探究とは何か”を体験的に学びました。その学びを土台に、金城学院幼稚園、星美学園短期大学、玩具メーカーの株式会社ジャクエツ様の協力のもと、本格的なプロジェクトがスタートしました。

金城学院幼稚園では、園長の児玉芽先生に「子どもたちの毎日には探究でいっぱい」と題した講演をしていただき、夏休みには約40名の有志が幼稚園を訪問。園児たちと一緒に遊ぶ体験を通して、子どもたちがどのように考え、工夫しながら遊ぶのかを学びました。星美学園短期大学の森井佳代先生からは、保育の専門的な視点でアドバイスをいただき、同短期大学の学生たちも同テーマに取り組むことで、今後は情報交換や交流も予定しています。また、ジャクエツ様からはプロジェクトへの助言とともに、温かいビデオメッセージも寄せていただきました。

来年3月、“誇りの持てる美しい作品” として展示発表へ

現在、生徒たちは自分の考えるおもちゃの企画書を作成中。企画書が完成したら、次はグループごとに分かれ、プロトタイプ（試作品）づくりに進みます。来年3月に開催される「Dignity発表会」では、“誇りの持てる美しい作品”をテーマに、完成したプロトタイプを展示発表する予定です。当日は全校生徒や教職員はもちろん、プロジェクトに関わってくださった専門家の方々にも見ていただく予定です。

幼稚園や短期大学・企業と連携して動くという経験は、中学生にとって大きな刺激です。生徒たちは「自分たちの学びが社会とつながっている」という実感を持ちながら、主体的に考え、行動するようになりました。プロトタイプ完成までの道のりは、まだまだ試行錯誤の連続です。けれども“誇りの持てる美しい作品”とは、見た目の美しさだけではなく、そこに込められた思いや努力の積み重ねが表れたもの。たとえ結果が思うようにいなくても、仲間と一緒に本気で真剣に探究した時間は、きっと自身の未来を拓く力になるはずです。

子どもたちの“探究心”を育むおもちゃを、私たちの手で。 ワクワクしながら課題に取り組んでいます！



白石 唯羽さん (中3)

**遊びを通して、工夫したり
挑戦する力を育みたい。**

幼稚園で園児たちと遊ぶ中で、子どもたちが試行錯誤しながら楽しめるおもちゃがいいなと思い、「ハンバーガーのバランスゲーム」を考えました。どうすればバランスを崩さずに積み上げられるか？失敗しても、もう一度挑戦したくなるようなおもちゃを作りたいです。



加藤 玲衣さん (中3)

**いろんな気づきや発見を
おもちゃづくりに生かして。**

紙飛行機や幼稚園での体験から思いついたのは、一つのおもちゃでさまざまな遊び方ができる“ドミノ”。並べて倒すだけでなく、積み木のように積んだり、形を作ったりもできます。一つひとつのピースに表情を描いて、オリジナルティを出したいです。



中川 葵子さん (中3)

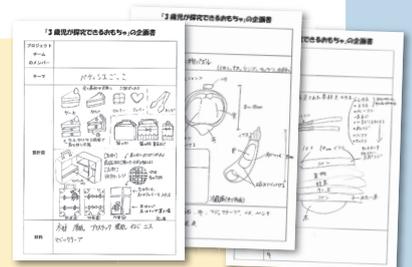
幼稚園児との出会いが、発想を変えてくれた。

幼稚園で出会った子どもたちは、自分なりに工夫して遊びを広げていました。そんな姿を見て、“遊び方を自分で見つけられるおもちゃ”を作りたいと思うようになりました。例えば、すべての面に目や口を描いた積み木なら、建物にも表情が生まれて楽しいはず。課題は多いけれど、形になっていく過程そのものがとても楽しいです。

内山 美桜さん (中3)

**“できた！”の笑顔を生む
おもちゃを作りたい。**

幼稚園での体験で、子どもたちが思った以上に考えながら遊んでいることに気づきました。例えば積み木なら、どうしたらより高く積めるか、どうすれば安定するか……。そんな姿がヒントになり、動く仕組みがわかる透明な自動車を考案中です。走らせながら笑顔になれるおもちゃを完成させたいです。



生徒たちが作成した企画書。



勇気とやる気もらった
ジャクエツ様からのビデオメッセージ。

金城学院 目的指定寄付金

金城学院へのご寄付をいただきまして、心より感謝申し上げます。今号では 2025年 6月から 2025年 10月末日までにご寄付をいただきました方々のご芳名を掲載し、深く感謝の意を表します。みなさまからのご厚志を有効に活用させていただきます。今後とも金城学院へのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

寄付金ご芳名録

(敬称略、順不同)

清水隆行	宮之原光枝	種田美佳子	萩野恵美子	水野貴子	日比野桂子	株式会社カミヤマ
中川洋子	滝川林弥	川田朋鷹	木村真百合	岩月清美	浜島恒子	金城学院大学短期大学部
宇井星日	浅野隆	券田和子	北村紀江	井口愛子	加藤純也	保育科同窓会しらゆり会
山田達也	佐々木ひかる	吉岡佳代子	松山寿美	浅井富宇子	川本満子	株式会社日本堂
長瀬由花	長津弘靖	原関立子	稲垣道子	稲山直志	宗教法人在日本南	
岸部晃幸	坂倉上恵威子	鈴木久美枝	土井君子	渡辺則子	プレスビテリアンミッション	
木俣君枝	瀧田正幸	大見典子	板谷浩幸			
藤原かほる	川谷修護	浅野千鶴	江之本郁代			
河野裕康	高谷尾上	浦川恵子	黒田麻友香			
宇佐見昌裕	分野俊子	加藤歌子	市川裕子			
森川信義	宇野い	今井和佳子	兒玉敏子			
平井洋一	小林い					

寄付者	件数	寄付目的	寄付金額(円)
ご父母	24	修学奨学金	970,000
教職員(元教職員含む)	8	本学院発展	5,516,541
卒業生	37	幼児教育支援	20,000
その他	1	総計	6,506,541
総計	70		

※匿名希望及び掲載の可否を確認できない方12件

金城学院 維持協力会

金城学院維持協会は、「金城学院の教育活動に対する支援と、さまざまな社会環境の変化に対する適切な助言を行うことによって、金城学院の維持・発展に寄与すること」を設立の趣旨とし、2011年度に発足されました。現在、東海地区を代表する有力企業などにご賛同いただき、ご入会いただいております。

維持協力会ご芳名録

(敬称略)

■ 法人

愛知株式会社
株式会社アイビーネット
株式会社アイワット
株式会社明石スクールユニフォームカンパニー
株式会社アドマテックス
天野商事株式会社
エスパシオエンタープライズ株式会社
NTP名古屋トヨペット株式会社
エヌビーエス株式会社
株式会社オティックス
株式会社カミヤマ
株式会社キクタケ
教育産業株式会社
株式会社杏林堂薬局
キョーワ薬局株式会社
金城学院大学生協同組合
キンセイマテック株式会社
株式会社きんでん 中部支社
グリーンシティコム株式会社
ココマーケティング株式会社
三建設備工業株式会社 名古屋支店

株式会社三晃社
株式会社三清社
株式会社産通
サンメッセ株式会社
三和油化工業株式会社
株式会社シーアールイー
株式会社シーオーエー
株式会社ジェイエスティ
敷島製パン株式会社
株式会社正文館書店
株式会社進研アド
株式会社新東通信
スギホールディングス株式会社
株式会社スギヤマ薬品
セクダム株式会社
株式会社瀬古写真館
瀬戸信用金庫
株式会社大学通信
大成建設株式会社 中部支店
大成有業不動産株式会社 名古屋支店
大成ロテック株式会社 中部支社
ダイダン株式会社 名古屋支社

武田機工株式会社
中央電気工事株式会社
株式会社中京テレビクリエーション
株式会社中部キャラバン
中部電力株式会社
中部土木株式会社
中部日本放送株式会社
電子システム株式会社
東海東京証券株式会社
東海報機株式会社
東邦ガスエナジーエンジニアリング株式会社
トヨタT&S建設株式会社
トヨタモビリティ東名古屋株式会社
トリニティー株式会社
有限会社永井抱陽写真館
株式会社中日本造園土木
株式会社名古屋銀行
日本管財株式会社
株式会社日本ドリコム
表示灯株式会社
株式会社ヒロエンジニアリング
株式会社ファインメディカル

福玉精穀倉庫株式会社
株式会社プランナーズブランド
株式会社朋和商事
株式会社マイナビ
丸善雄松堂株式会社 名古屋支店
ミクニ機工株式会社
株式会社三菱地所設計
三菱電機ビルソリューションズ株式会社
中部支社
株式会社ヤマハミュージックジャパン
一般社団法人ライフ予防医学センター
リンナイ株式会社

■ 個人

浅井清司 橋本修三
川瀬正裕 半谷眞一郎
諏訪徹 山田隆雄
野田清衛 吉岡肇

2025年10月末時点

KINJO INFORMATION

金城ギフトまもなく、誕生



金城ギフトは、金城の“ファン”が楽しく学院と卒業生を応援できる新しい寄付のかたち。ご寄付には感謝の気持ちとして「返礼品」をお届けします。詳細は12月よりスタートした卒業生向け公式LINEにて順次ご案内しますのでぜひご登録ください。

返礼品パートナー募集



金城ギフトの返礼品パートナーを募集しています。あなたの想いが形になり、未来の金城を支える力に変わります。ご協力いただける方は二次元コードより情報の登録をお願いいたします。



Christmas Special Calendar

クリスマス行事のお知らせ

金城学院大学

ハンドベルクワイア クリスマスコンサート

日時 12月6日(土)
17:30~19:30

場所 金城学院大学
アニー・ランドルフ記念講堂

入場料 1,500円

大学クリスマス礼拝

日時 12月18日(木) 17:00~18:00

場所 金城学院大学
アニー・ランドルフ記念講堂

説教 山田 麻衣子
(日本基督教団名古屋北教会牧師)

特別讃美 大学クワイア
大学ハンドベルクワイア
大学ハーブアンサンブル部

金城学院中学校

ハンドベルクワイア クリスマスコンサート

日時 12月6日(土) 14:30

場所 日本アッセンブリーズ・オブ・
ゴッド教団
天塚キリスト教会

日時 12月21日(日) 14:00

場所 日本キリスト改革尾張旭教会

ハーブアンサンブル部

みどり野会クリスマス讃美礼拝

日時 12月13日(土) 10:30

場所 中学校 白百合館2階 礼拝堂

金城学院幼稚園

にじぐみクリスマス礼拝(満3才児親子)

日時 12月17日(水) 10:45

場所 金城学院幼稚園

讃美礼拝(親子)

日時 12月18日(木) 9:50

場所 金城学院幼稚園

金城学院中学校・高等学校

中学校・高等学校グリークラブ

日時 12月7日(日) 13:00~14:00

場所 日本基督教団桜山教会

日時 12月14日(日) 13:00~14:00

場所 日本基督教団名古屋教会

日時 12月14日(日) 16:30~17:00

場所 徳川園

日時 12月20日(土) 15:00~16:30

場所 日本基督教団御器所教会

日時 12月21日(日)

場所 ウィークエンド合唱祭 イオンモール長久手

日時 12月24日(水) 13:30~14:00

場所 中日ビル B1イベントスペース

日時 12月24日(水)・12月25日(木)
16:30~17:00

場所 ミッドランドスクエア

クリスマス親子礼拝

日時 12月20日(土) 13:15

場所 金城学院大学
アニー・ランドルフ記念講堂

プログラム

- ◎礼拝
- ◎金城学院高等学校ハーブアンサンブル部によるミニコンサート
- ◎年長児キャロリング

金城学院高等学校

ハンドベルクワイア

日時 12月13日(土) 14:00~15:00

場所 愛知県図書館

日時 12月14日(日) 13:00~14:00

場所 日本基督教団南山教会

日時 12月21日(日) 12:10~12:30

場所 日本基督教団赤池教会

日時 12月24日(水) 10:30~11:15

場所 中日ビル B1イベントスペース

日時 12月24日(水) 14:30~15:00

場所 ミッドランドスクエア

ハーブアンサンブル部

金城学院幼稚園 クリスマス親子礼拝 ミニコンサート

日時 12月20日(土) 14:00~14:30

場所 金城学院大学
アニー・ランドルフ記念講堂

「KINJO GAKUIN STORE」が大学内にオープン!

2025年9月18日、本部棟4階に「KINJO GAKUIN STORE」がグランドオープン! 本学オリジナルグッズやガチャなど、多彩なアイテムを展開しています。金城の魅力が詰まった新たなスポットへ、ぜひお立ち寄りください。



NEW カシミアマフラー

金城学院の校章が刺繍された、カシミア100%マフラー(5色展開)



素敵なグッズがたくさん!

金城学院
オンラインストアへ!



卒業生向け公式 LINE、はじまりました!

12月より、金城学院からの情報をお届けする「卒業生向けLINE」がスタートしました。ニュースやイベント情報などを発信します。

友だち登録は
こちら



※「金城学院アプリ」は2025年12月末で終了します。



クリスマス～希望の光

「闇の中を歩む民は、大いなる光を見、死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。」

[イザヤ書9章1節]

近年、日本でもクリスマスになるとあちらこちらの街々で
きらびやかなイルミネーションが見られるようになりました。
しかし、どれほどの人が「まことの光」に思いを馳せている
でしょうか。イルミネーションはクリスマス・ツリーと共に16
世紀にドイツ(当時は神聖ローマ帝国)で始まったと言われて
います。緯度の高いヨーロッパの冬は夜が暗く長いのですが、
特にドイツは北に位置しますので、12月の夜は「いつになったら
明るくなるのだろう」と思うほどで、凍てつく暗い夜が続きます。

ドイツには古代ゲルマン民族の時代から常緑樹を御祝い事
などで飾る風習が有ったようですが、それを宗教改革者のルター

がクリスマスに用いました。キリストの永遠の命を落葉する
ことのない常緑樹のもみの木で表し、夜空を照らす星「世の光」
をロウソクの飾りで表したことが現代のクリスマス・ツリーと
イルミネーションの始まりとされています。

聖書の時代ですが、今の時代も戦争や貧困、病気、先の
見えない不安などから暗闇を歩んでいる人が数えきれないほど
います。しかし、キリストの光は全て人の上に注がれています。
このクリスマスはみなでツリーを立てて、オーナメントやライト
で飾り付けて、心からキリストの誕生をお祝いしませんか。

吉松 純 (大学宗教主事)

みどり野会(同窓会)より

みどり野会は1903年に設立された金城学院の卒業生が集う
会です。『みどり野会』という名称は大正9年(1920年)、
旧約聖書の詩篇第23篇から名付けられました。

主はわが牧者なり われ乏しきことあらじ
主は我をみどりの野にふさせ
いこひの水濱にとまひたまふ

神さまによってこの学院に集められた私たちが卒業後も母校
に集まり、いこひの時を過ごす場という意味で「みどり野会」
はいつも皆さんと共にあるのです。

お知らせ

2026年度 みどり野会総会

- 日 時：2026年4月18日(土) 10:30~14:15
 - 場 所：名古屋東急ホテル
 - 礼 拝：日本基督教団名古屋教会 田口 博之牧師
 - ◎ 要申込：みどり野会事務局までお申し込みください(会費制)
- ※総会後の愛餐会でミニコンサートを予定しております。

※イベント予定の変更がある際は、みどり野会HPにてご連絡します。

お問合せ先
【みどり野会事務局】

電話：《本部》052-931-4480(中学校白百合館1階) / 《分室》052-798-0193(大学本部棟4階)
<https://www.kinjo-midorino.com> ※活動詳細は会報『みどり野107号』をご覧ください。

遺贈による寄付制度



近年、教育現場への支援をすることで社会貢献をなされたいという思いのもと、母
校への遺贈(遺言による寄付)をお考えくださる方が増えてまいりました。金城学
院では、学校法人に財産を寄贈された場合に遺贈者並びに受遺者に税金が掛から
ない制度のもと、遺贈による寄付金の募集も行っています。詳細は 総務部総務課
に、遠慮なくご相談ください。遺贈によらない場合でも、相続人が相続財産を申告期
限までに学校法人に寄付した場合、税制上の優遇措置が受けられます。



金城学院

学校法人 金城学院
名古屋守山区大森二丁目1723番地
TEL.052-798-0180
発行者 / 金城学院報編集委員会
金城学院報通巻第116号
(with Dignity vol.46)
発行 / 2025年12月

表紙
につ
いて

創立者の名前を冠した「アニー・ランドルフ記念講堂」。

金城学院の創立者であるアメリカ南長老教会
宣教師アニー・ランドルフの名にちなみ、1991年に
建学の精神の象徴として建てられた施設です。
約1,700人を収容できる大ホールは、入学式や
卒業式、クリスマス礼拝などの公式行事に使用
されるだけでなく、地域の学術・文化活動にも
貢献しています(名古屋市都市景観賞受賞)。



with Dignity

金城女学校・第6代校長である
エラ・ヒューストンが、外出
する生徒に「金城の生徒として
“You must have dignity.”と
話しかけたことに由来しています。
“dignity”は、尊厳・品位の意。